

2015 年度事業報告

2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第 1 フェーズ）、（N 連 IV 年目）	外務省 H26 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業（第 2 フェーズ）、（N 連 V 年目）	外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	ケニア、バリンゴ山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全（トヨタ環境 14/15）	トヨタ環境活動助成プログラム 2013 年度
	次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト（トヨタ環境 16/17）	トヨタ環境活動助成プログラム 2015 年度
	地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備	（独）国際協力機構（JICA）、業務実施（単独型）契約
b) タンザニア	在タンザニア日本大使館草の根事業における、道路調査と施工計画、見積	団体自己資金
c) ブルキナファソ	農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業（第 1 フェーズ）、（N 連 I 年目）	外務省 H26 年度 NGO 連携無償資金協力事業
	農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業（第 2 フェーズ）、（N 連 II 年目）	外務省 H27 年度 NGO 連携無償資金協力事業
d) ザンビア	NPO 法人 TICO と連携した住民参加型橋梁架設事業	団体自己資金
e) ルワンダ	農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発	（公財）日本国際協力財団助成事業
f) ウガンダ	アフリカ地域市場志向型農業振興（SHEP アプローチ）の広域展開促進調査（土のうを利用した農道整備）	（独）国際協力機構（JICA）、業務実施（単独型）契約
g) エチオピア	アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手	団体自己資金

	法の粘性土地盤への適用性検証	
h) ミャンマー	住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業（第2フェーズ）、（N連II年目）	外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業
	住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業（第3フェーズ）、（N連III年目）	外務省H27年度NGO連携無償資金協力事業
i) 東ティモール	東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト専門家（土木工学・学部運営）派遣	（独）国際協力機構（JICA）、委嘱業務契約
j) バングラディッシュ	コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業	（公財）日本国際協力財団助成事業
k) フィリピン	コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業	（公財）日本国際協力財団助成事業
	地方大学と連携した土のうによる簡便インフラ整備手法の普及	団体自己資金
l) パラグアイ	特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金と連携した住民参加による未舗装道路整備	団体自己資金
m) エルサルバドル	道路維持管理基金全国大会での土のう工法紹介	団体自己資金
n) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

2. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3. 事業実施期間、4. 事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア_1, 2

事業名)

若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業 第1、2フェーズ

事業内容)

- a. カウンティ政府と行う若者グループ（20グループ）に対する雇用創出と自立支援に向けた道直しの実施
- b. 土のう工法普及のための実演ワークショップの開催
- c. コントラクター資格取得のための講習への参加

事業期間)

2015年4月から2015年11月、2015年11月から2016年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、キシイ郡、ケリチョ郡、マチャコス郡、ナクル郡
ブンゴマ郡、カジアド郡、エンブ郡、タイタタベタ郡

従事者数)

4名(木村、喜田、本庄、酒井)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、キシイ郡、ケリチョ郡、マチャコス郡、ナクル郡、ブンゴマ郡、カジアド郡の若者グループメンバー750名、道路沿線住民約1,500名

事業費)

37,445,465 円 (23,016,217 円+14,429,248 円)

ケニア_3

事業名)

ケニア、バリngo山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全(トヨタ環境 14/15)

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 持続的な苗木生産活動に向けた苗木販路獲得支援

事業期間)

2015年4月から2015年12月

実施国、地域)

ケニア共和国、バリngo郡

従事者数)

3名(木村、喜田、本庄)

裨益者)

バリngo郡対象グループメンバー523名

事業費)

2,616,577 円

ケニア_4

事業名)

次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト(トヨタ環境 16/17)

事業内容)

- a. 苗木づくりに向けた技術支援
- b. 苗木生産組織強化
- c. 持続的な苗木生産活動に向けた苗木販路獲得支援

事業期間)

2016年1月から2016年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナクル郡

従事者数)

3名(木村、喜田、本庄)

裨益者)

ナクル郡対象グループメンバー400名

事業費)

256,580 円

ケニア_5

事業名)

地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト、土のうによる農道整備

事業内容)

- a. 農民組織への土のうによる農道整備研修教材の作成
- b. 農民組織への土のうによる農道整備研修成果の調査とその結果に基づく研修手順提案

事業期間)

2016年3月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナイロビ、ムランガ郡、マチャコス郡

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

対象グループメンバー600名

事業費)

1,429,597 円

b) タンザニア

事業名)

在タンザニア日本大使館草の根事業における、道路調査と施工計画、見積

事業内容)

- a. 住民参加による道路整備に向けた対象道路調査と施工計画、見積

事業期間)

2015年8月～9月

実施国、地域)

タンザニア連合共和国、ネワラ県

従事者数)

3名(木村、酒井、田川)

裨益者)

対象グループメンバー115名と沿線住民3,000人

事業費)

1,661,040 円

c) ブルキナファソ_1, 2

事業名)

農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業 第1、2フェーズ

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備の実施と技術移転
- b. 未舗装道路整備アソシエーションの設立支援と能力強化
- c. 道路管理者、行政官、NGO、ドナー機関等への土のう工法紹介

事業期間)

2015年4月から2015年11月、2016年2月から2016年3月

実施国、地域)

ブルキナファソ共和国、カスケード州コモエ県、オート・バッサン州ウエ県

従事者数)

4名(木村、森重、酒井、大東)

裨益者)

土のうによる道路整備やその研修に参加した、コモエ県、ウエ県の住民100名、道路沿線住民約1,500名

事業費)

17,163,309円(10,027,144円+7,136,165円)

d) ザンビア

事業名)

NPO法人TICOと連携した住民参加による橋梁架設事業

事業内容)

- a. 住民参加による鉄筋コンクリート桁橋架設

事業期間)

2015年6月～7月

実施国、地域)

ザンビア共和国、セントラル州チサンバ地区、マケニ村・ルピヤ村

従事者数)

2名(木村、大東)

裨益者)

実施地域村の住民300人

事業費)

223,275円

e) ルワンダ

事業名)

農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

事業内容)

- a. 住民参加による農道整備事業
- b. 住民参加による苗木育成事業

事業期間)

2015年4月～2016年3月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、ブゲセラ県ニヤマタ地区、キヤゴマ村

従事者数)

4名(木村、喜田、本庄、福林)

裨益者)

実施地域村の住民250人

事業費)

3,966,742円

f) ウガンダ

事業名)

アフリカ地域市場志向型農業振興(SHEPアプローチ)の広域展開促進調査(土のうを利用した農道整備)

事業内容)

- a. アフリカ地域市場志向型農業振興(SHEPアプローチ)の広域展開促進に向けた、土のうを利用した農道整備に関する事前調査

事業期間)

2015年4月～2015年5月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、アチョリ地域

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

ウガンダ国農業省、アチョリ地域の住民約250人

事業費)

264,651円

g) エチオピア

事業名)

アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社と連携した、土のうによる未舗装道路整備手法の粘性土地盤への適用性検証

事業内容)

- a. アジスアベバ科学技術大学、エチオピア道路公社との試験施工実施に向けた調査
- b. アジスアベバ科学技術大学構内歩道整備

事業期間)

2015年4月～2015年10月

実施国、地域)

エチオピア連邦民主共和国、アジスアベバ

従事者数)

2名（木村、福林）

裨益者）

アジスアベバ科学技術大学の教員、学生約300人

事業費）

773,246円

h) ミャンマー

事業名）

住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業第2,3フェーズ

事業内容）

a. 住民参加による農道整備、橋梁建設

事業期間）

2015年4月～2016年3月

実施国、地域）

ミャンマー連邦共和国、エーヤワディ地域、カレン州、シャン州、ネピドー連邦直轄領

従事者数）

5名（木村、酒井、田中、堀内、田川）

裨益者）

事業実施地域の住民約3,500人

事業費）

30,238,800円（14,503,806円＋15,734,994円）

i) 東ティモール

事業名）

JICA 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトへの専門家派遣

事業内容）

a. 工学部、土木工学科運営支援

事業期間）

2015年4月～2016年3月

実施国、地域）

東ティモール民主共和国、ヘラ

従事者数）

2名（木村、福林）

裨益者）

大学の教員、学生約200人

事業費）

2,635,183円

j) バングラディッシュ

事業名）

コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業

事業内容)

- a. 土のうを利用した農道整備と住民組織への技術移転

事業期間)

2015年9月

実施国、地域)

バングラディッシュ人民共和国、ラシャヒ市、ゴダガリ郡、ボタハル村

従事者数)

2名(木村、大東)

裨益者)

ボタハル村の住民約800人

事業費)

294,590円

k) フィリピン_1, 2

事業名)

コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業、地方大学と連携した土のうによる簡便インフラ整備手法の普及

事業内容)

- a. 土のうを利用し建設された渡河部沈下橋の維持管理に関する研修
- b. 地方大学を通した土のうによる簡便インフラ整備手法の普及活動への資金協力

事業期間)

2015年9月から10月

実施国、地域)

フィリピン共和国ヌエバビスカヤ州南デュバック市カロロタン村、イルコスノルテ州ラワグ市

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

カロロタン村の住民約300人、地方大学関係者と同大学近郊住民約500人

事業費)

681,587円

l) パラグアイ

事業名)

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金と連携した住民参加による未舗装道路整備

事業内容)

- a. 住民参加による土のうを利用した農道整備

事業期間)

2015年11月

実施国、地域)

パラグアイ共和国カアグス県

従事者数)

1名(木村)

裨益者)

カアグス県対象村の住民約200人

事業費)

244,709円

m) エルサルバトル

事業名)

道路維持管理基金全国大会での土のう工法紹介

事業内容)

a. 道路維持管理基金と零細企業への、土のうを利用した農道整備手法の紹介

事業期間)

2015年11月～12月

実施国、地域)

エルサルバトル共和国、サンサルバトル

従事者数)

2名(木村、福林)

裨益者)

全国大会参加者約100人

事業費)

44,742円

n) 国内

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

事業内容)

a. 各地で講演会、展示会、広報資料作成、配布

事業期間)

2015年4月～2016年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

9名(木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、酒井、福林、須摩谷)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

5,762,610円

2015 年度上半期活動内容

主な活動	2015					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、喜田、本庄)						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト(木村、喜田、本庄)						
ルワンダ						
農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発(木村、喜田、福林、本庄)				—	—	
ブルキナファソ						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、大東、酒井)	—	—	—	—	—	—
ザンビア						
NPO法人TICOと連携したコミュニティ参加による橋梁架設事業(木村、大東)			—	—		
タンザニア						
在タンザニア日本国大使館草の根事業・事前調査(木村、酒井、田川)					—	—
ミャンマー						
外務省H26年度NGO連携無償資金協力事業(木村、酒井、田中、堀内、田川)	—	—	—	—	—	—
バングラディッシュ						
総合的農村開発事業における農道整備(木村、大東)						—
フィリピン						
有機・減農薬野菜の販路促進プロジェクトにおける渡河部対策工建設(木村、福林)	—					—
コートジボワール						
国内研修で関心を示した政府関係者の要請を受け、現地での土のう工法の紹介(木村、大東)					—	

助成事業等

事業名: 若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業(第1フェーズ)

資金協力団体: 外務省, 平成 26 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014 年 11 月から 2015 年 11 月(ケニア)

事業名: ケニア、バリンゴ山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全

助成団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2013 年度
事業期間: 2014 年 1 月から 2015 年 12 月(ケニア)

事業名: 農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業

資金協力団体: 外務省, 平成 26 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014 年 10 月から 2015 年 10 月(ブルキナファソ)

事業名: コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業

資金協力団体: 財団法人日本国際協力財団

事業期間: 2015 年 4 月から 2016 年 3 月(バングラディッシュ、フィリピン)

事業名: 住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業

資金協力団体: 外務省, 平成 26 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014 年 10 月から 2015 年 10 月(ミャンマー)

事業名: 農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体: 財団法人日本国際協力財団
事業期間: 2015 年 4 月から 2016 年 3 月(ルワンダ)

事業名: 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

資金協力団体: (独)国際協力機構
事業期間: 2014 年 5 月から 2016 年 3 月(東ティモール)

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2015 年度上期活動概要



コートジボワール



みちぶしんびと
NPO 法人 道普請人

主な広報活動

日程	内容
8月21日	木村理事長がコートジボワールにて同国内務省行政官、市長らと今後の道路整備について会談し、その様子が国営テレビ RTI で放送されました。
8月22日	土木学会主催『市民普請大賞 全国交流会議 2015』で福林理事が活動報告、パネルディスカッションの討論者として参加しました。
9月11日	福林理事がパプアニューギニアでのアジア開発銀行 NGO 連携センター主催のフォーラムで現地で開催した事業成果について発表しました。
9月12日	JICA 関西、(公財)京都府国際センター主催の「国際協カステーション」に出展しました。

活動報告

ケニア

- 雇用促進と未舗装道路整備につながるよう、総勢 627 名の若者に土のう工法の技術移転を行いました。
- 当法人の研修を受けた若者グループ代表が選抜され、ケニア政府出資の道路維持管理研修を受講しました。労働集約工法、土のう工法習得者として認証され、公共事業受注の基盤が整いました。
- 環境保全型農業の普及・定着を目指し、農民組織が継続し苗木生産活動ができるよう販路獲得に力を注いでいます。



土のう技術訓練



苗木を生産する農民組織

ルワンダ

若者や農民組織に対して農道整備と苗木生産・管理の技術移転を行いました。



土のう技術訓練実施風景



足踏ホップでの、苗木に水やりの様子

ミャンマー

エーヤワディー地域、カレン州、ネピドー地域の道路補修、橋梁建設工事が全地域無事終了しました。今後継続して維持管理ができるよう、コミュニティ組織強化研修、道路維持管理計画研修を行っています。



建設した橋梁の開通式の様子



道路維持管理計画研修の様子

ブルキナファソ

- 西部の事業地の村で住民組織「アンカバラケ」(“さあ、働くぞ”の意味)が結成されました。彼らがさらに道路整備を進められるよう、技術研修をしています。
- 事業地近くの都市、バンフォラ市では市行政と共同で市内道路 2ヶ所合計 600 m を土のう工法を用いて整備を行い、雨季に通行が困難になる市内の道路状況が改善されました。バンフォラ市役所では今後自力で土のう工法を用いて市内道路整備を進める方針が立てられ、土のう工法の普及、未舗装道路の整備が進むことが期待されています。



雨季の施工道路の様子



バンフォラ市での道路整備

エチオピア

アジスアベバ科学技術大学と連携し、ブラックコットンソイルの広がる構内で歩道を建設しました。敷石舗装の路盤に、土のうが利用されました。



施工中の様子

コートジボワール

内務省行政官や全国市長らに土のう工法を紹介し、未舗装道路整備施策について協議しました。大きな関心を得て、2016 年度に土のう工法のパイロット工事を実施予定です。



政府関係者との会議後集合写真

バングラディッシュ

昨年度粘性土地盤上で廃レンガと土のうを用いて住民と整備を行った道路の、雨季の状況を確認しました。整備効果が確認され、今後住民グループにより他地域の道路改修が行われる予定です。



施工前 (雨季時)



施工後 (雨季時)

施工延長(2015年9月末日現在)

	累計(m)	2015年度 上期(m)
ケニア	26,910	1,425
ルワンダ	100	80
ブルキナファソ	1,945	760
ミャンマー	11,040	1,220
コートジボワール	30	30
エチオピア	30	30
その他(バングラディッシュ、ザンビア、 フィリピン、パプアニューギニア、タンザニア、他)	131,903	0
合計	135,448	3,545

会員数情報(15年9月末時)

正会員個人	75
正会員団体	14
賛助会員個人	69
賛助会員団体	5
寄付者	49

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

2015年度下半期活動内容

主な活動	2015			2016		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、喜田、本庄)						
トヨタ環境活動助成、環境保全プロジェクト(木村、喜田、本庄)						
JICA、地方分権下における小規模園芸農民組織強化・振興プロジェクト(木村、福林)						
ソマリア						
国際労働機関、帰還難民のための生計支援プロジェクト(喜田、本庄)						
ブルキナファソ						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、大東、酒井)	—					
エルサルバドル						
道路維持管理基金との連携による土のう工法普及活動、調査(福林)			—			
パラグアイ						
横浜国立大学、ミタイ基金との連携による土のう工法普及活動、調査(木村)			—			
ミャンマー						
外務省H26・27年度NGO連携無償資金協力事業(木村、酒井、田中、堀内、田川)	—					
東ティモール						
JICA、東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト(福林)				—	—	

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2015年度下期活動概要



ソマリア



みちぶしんびと
NPO 法人 道普請人

助成事業等

事業名: 若者グループに対する持続的な雇用創出と自立支援に向けた「土のう」による道路補修事業(第1、2フェーズ)

資金協力団体: 外務省, 平成 26・27 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014/11 月～2015/11、2015/11～2016/11(ケニア)

事業名: ケニア、バリンゴ山間地の農民グループによる樹木苗木作りと「土のう」を使った土壌保全

助成団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2013 年度
事業期間 2014 年 1 月から 2015 年 12 月(ケニア)

事業名: 次世代に資源を残すために地域で取組む東アフリカ最大のマウ天然自然林保全プロジェクト

助成団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2016 年度
事業期間: 2016 年 1 月から 2017 年 12 月(ケニア)

事業名: コミュニティ参加による農道や道路構造物整備事業

資金協力団体: 財団法人日本国際協力財団
事業期間: 2015 年 4 月から 2016 年 3 月(バングラディッシュ、フィリピン)

事業名: 農民組織の持続的な活性化に向けた「土のう工法」を用いた農道改築事業(第1、2フェーズ)

資金協力団体: 外務省, 平成 26・27 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014/10 月～2015/10、2016/2～2017/2(ブルキナファソ)

事業名: 住民の道路整備能力及び橋梁建設技術強化による農道改築事業

資金協力団体: 外務省, 平成 26・27 年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2014/10 月～2015/10、2015/12～2016/12(ミャンマー)

事業名: 農道整備と環境保全型農業普及による農村コミュニティ開発

資金協力団体: 財団法人日本国際協力財団
事業期間: 2015 年 4 月から 2016 年 3 月(ルワンダ)

事業名: 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

資金協力団体: (独)国際協力機構
事業期間: 2014 年 5 月から 2016 年 3 月(東ティモール)

主な広報活動

日程	内容
10月8日	建設未来京都フォーラム主催のシンポジウム『建設未来京都フォーラム 2015』にて木村理事長が講演。
11月9日	国際地盤工学会第15回アジア地域会議のプログラムに道普請人の広告が掲載。
11月25日	福林理事が、エルサルバドルで道路維持管理基金第四回全国大会で土のう工法を紹介。
12月5日	COP21、アフリカパピリオンサイドイベントで土のうを利用した農道整備手法を紹介
12月17日	福林理事が同志社大学大学院、グローバルリソースマネジメント プログラムのキャリア形成支援セミナーで講演。
2月1日	国際開発ジャーナル 2月号に木村理事長の記事が掲載。

活動報告

ケニア

ケニア国内4つの郡(日本の県に相当)で、雇用につながる技能として土のう工法を若者グループに研修する事業が始まりました。訓練現場に、木村理事長と岸田副理事長の訪問もあり、現場の士気も高まっています。

(2014・15年度 外務省・日本 NGO 連携資金協力)



木村理事長(右端から3人目)、喜田副理事長(前列左から2人目)と若者達



岸田副理事長(最前列中央)、喜田副理事長(最前列左端)、本庄職員(後列左端)と若者達



トヨタ環境活動助成プログラムの助成を受け、新たに2016年1月から東アフリカ最大のマウ天然林保全に取り組み始めました。

ソマリア

ソマリアの帰還民(ケニアに難民として退避していたが、今は帰国している)とソマリの技術者を対象に、土のう技術訓練を行いました。(国際労働機関(ILO)ソマリアとの協働事業)



研修を受けたソマリア帰還民の人々



土のうの締め作業中

ブルキナファソ

バンフォラ、ボボデュラツソ地域・合計5カ村にて周辺住民を対象とした道路補修工事研修が開始されました。昨年度の工事によって雨季中の道路状況が劇的に改善され、土のう工法技術への期待が高まっています。(2015年度 外務省・日本 NGO 連携無償資金協力)



住民会議の様子



研修中の様子

ミャンマー

エーヤワディー地域、マグエ地域、シャン州・合計4カ村で新たな道路補修工事研修が開始されました。(2016年度 外務省・日本 NGO 連携無償資金協力)



エーヤワディー地域・僧侶が見守る中、夜間まで道路補修作業に励む住民達。



シャン州・施工前の様子。山岳地帯で坂道が多い。チェーンをタイヤに巻き付けた車両が通行を試みるが、本格的な雨季にはその車両でさえも通行不能となる。

エルサルバドル

日本で木村理事長の講義を聞いた道路維持管理基金職員から要請を受け、福林理事が同団体第四回全国大会で土のう工法紹介のための講演を行いました。



講演の様子



1/2 土のうで締固作業を実演

スタディツアー

2016年春季・スタディツアーをミャンマーで実施致しました。



子供達の似顔絵を描く参加者



地元住民との交流

施工延長(2016年3月末日現在)

	累計(m)	'15年度下期(m)
ケニア	24,498	519
ソマリア	721	634
ブルキナファソ	2,765	820
ミャンマー	14,205	3,165
パラグアイ	20	20
その他(バングラディッシュ、 ハイチ、ニューギニア、タンザニア、他)	95,466	0
合計	137,675	5,158

会員数情報(16年3月末日時)

正会員個人	84
正会員団体	15
賛助会員個人	75
賛助会員団体	5
寄付者	55

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>